

あなたの命：笑顔を支える 看護師がいなくなる

衛生医療評議会は、4月から、「看護職員の離職防止と労働条件改善を求める署名」活動に取り組んでいます。「あなたの命や笑顔を支える看護師」が働きつづける環境をつくり、地域医療を守るために、皆さんのご協力をお願いします。
(公共サービス政策部長・居橋真人)

大変だけど大変じゃない
「看護師の仕事は、大変だけれどやりがいがあります」と言いつつ、みなさんは「そうだね」と納得し

てくれると思います。しかし、どう大変なのかは、看護師とそれ以外の人では、違うイメージを持っていると思います。看護師にとって、患者や家族を支えることは、使命で、看護をする喜びに通じます。つまり、大変だけれど大変ではないのです。

日本看護協会の調査では、夜勤と月60時間以上の超過勤務をしている看護師は全国で約2万人います。また、労働科学研究所の調査では、「看護師の業務を続けたいか」という問いに対し、4割の看護師が「続けられない」、と答えています。

つまり、仕事はやりがいがあるけれど、死んでしまったり、働き続けられない職場なのです。

職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

看護職員200万人体制をめざし、「看護職員の離職防止と労働条件改善を求める署名」にご協力をお願いします。

この人に会ってみたい②
『めでいきりす』で看護職員200万人
木古内町職労 安斉 郁美さん



安斉郁美さん
キャラクターを描いたのは娘の萌さん。メディカル(医療)とリスを合わせて『めでいきりす』すると語呂がいいと、リスを選んだ。

「看護師200万人体制実現」のため、自治労本部が昨年、キャラクターを募集した。応募者の中から、北海道本部川木古内町職労の安斉郁美さんの娘・萌さんが描いたキャラクター「めでいきりす」が選ばれた。
安斉さんは、木古内町。現在、内科病棟で勤務。地域性を考えると、難しいことも理解している。安斉さんの職場は、夜勤が2交代制。若い人は、人員確保が大きな課題です。長く働いてく

れる人に来てほしい」と述べ、「看護師200万人体制実現」の取り組みについては、「自分ができるところは、限られているが、署名活動などを、積極的にやっていきたい」と話した。

u535
http://www.jichiro.gr.jp/

特集

就労看護職員
200万人体制実現アクションプラン

生き活きと働き続けるために

**実現しよう!!
看護職員
200万人**

全日本自治団体労働組合
衛生医療評議会

働き続けられない職場
2001年に、月50〜60時間の超過勤務をしていた25歳の看護師が、クモ膜下出血で死亡し公務災害認定を受けました。強い精神的緊張と極度の睡眠不足で過労死したの

職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

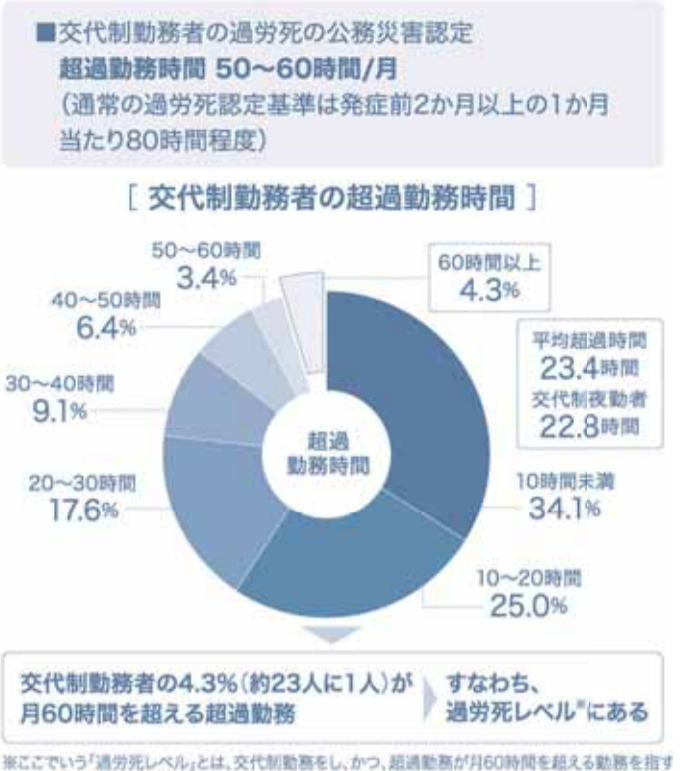
職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

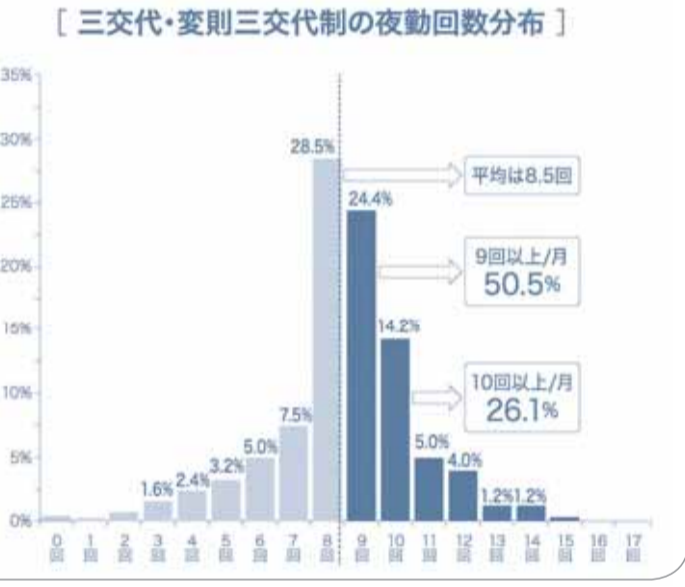
職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。

職場は、あなたの命を守り、笑顔を支えることにつながります。



■三交代・変則三交代制の平均夜勤回数は8.5回
■2人に1人(50.5%)が9回以上/月、4人に1人(26.1%)が10回以上/月
■72時間超の過酷な夜勤を行っている者が存在

[三交代・変則三交代制の夜勤回数分布]



公共サービス政策部長
いはし まひと
居橋 真人さん(44歳)

「また署名!?!」で終わらせたくない
直撃インタビュー

の前は? 多くの患者と関わりたいと思い、3年間札幌市内の民間病院に勤務。29歳で公務員試験を受験し、市立札幌病院に入職。診療院のぞみ学園で学んだ。その後、8年間准看護師として働き、正看護師免許を取得。5年間、認知症患者や精神科の患者だけではない職場の課題は? 夜勤と超過勤務が多くなること、自己犠牲を伴わない、本当の安心・安全な医療サービスの提供につながる。

最後にひとこと 「組合活動の経験は短い。しかし、今回の署名を『また署名!?!』で終わらせることなく、なぜ必要なのかを伝え、取り組み結果をしっかり職場の仲間に戻し今後の運動につなげたい」と抱負を述べ笑顔を見せた。

1968年3月19日生れ

青森県下北半島



六ヶ所村は、本州の最北下北半島の付け根にある4,548世帯、11,113人が住む村。核燃料サイクル基地として4つの施設が建設されている。「ウラン濃縮工場」「低レベル放射性廃棄物埋設センター」「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」「再処理工場」。



全国から1150人が集った、4・9反核燃の日全国集会＝4月7日、青森市・青い森公園

8日、日本原燃本社前での抗議集会には、約300人が集結し、原水禁藤本事務局長のあいさつに続き、自治労本部・佐々木青年部長が「原燃がなくなる社会にむけて、もう一度取り組む」と力強く決意を述べた。



日本原燃職員が、施設概要や核燃料サイクルについて説明した。参加者は、高レベル廃棄物の処理について「処分場が見つからない」「なか廃棄物をどうするか」「希望的観測でやっている事業なのか」と質問した。

帰路では、活断層の場所や燃料輸送に使用される港や専用道路を見学した。フィールドワークでガイドを担当した山田事務局長が、地元の反対運動の歴史を述べ「疲弊していく地域で生きるために、反対運動をやめざるを得なかった」といった話を、参加者は熱心に耳を傾けた。

『原発マネー』ぼしぼし...

日本原燃の六ヶ所再処理工場の本格稼働など核燃料サイクルに反対する「第27回4・9反核燃の日全国集会」が4月7日、青森市・青い森公園で開かれた。全国各地から約1150人が集まり、原発の再稼働反対と使用済核燃料の再処理事業からの撤退を訴えた。

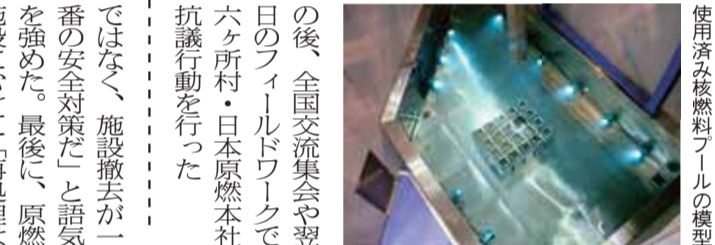
この集会は、1985年4月9日、当時の北村正哉知事が、核燃料サイクル基地として、4つの施設受け入れを表明した日にちなみ、止めよう再処理！全国実行委員会が毎年開いている。

北海道から、道南・函館の仲間30人が「大間原発建設を許さない」の決意もあらたに参加した。開会あいさつに立った、青森県反核実行委員会の三上委員長は、東北に生きる者として、福島に断腸の思い。青森ではリンゴ、はたてが売れなくなった。第一次産業が被害にあう中、知事や各自治体首長は『原発マネー』ほしほしに、核燃料サイクルを進めようとしていた。

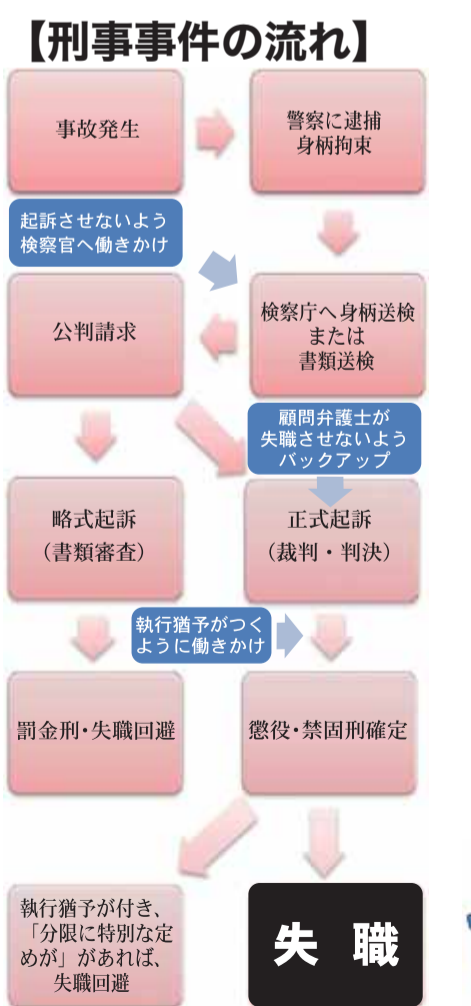
第二次原発建設を許さないの決意もあらたに参加した。開会あいさつに立った、青森県反核実行委員会の三上委員長は、東北に生きる者として、福島に断腸の思い。青森ではリンゴ、はたてが売れなくなった。第一次産業が被害にあう中、知事や各自治体首長は『原発マネー』ほしほしに、核燃料サイクルを進めようとしていた。

身勝手な県民としてはずかしい。あらためてたかひを強化したい」と決意を述べた。

集会アピールで、本格稼働を阻止することを採択し、断続的に雪が吹き付ける中、デモ行進で市民に脱原発を訴えた。その後、全国交流集会や翌日のフィールドワークで六ヶ所村・日本原燃本社抗議行動を行った。



自治労共済の自動車共済 全力であなたをサポート



自治労共済『自動車共済』に加入していると

事故後から、解決まで査定員・顧問弁護士・単組総支部が連携し対応をします。

損害賠償示談と同時に、刑事事件対応も行います。

例えば、顧問弁護士から検察官へ起訴させないために積極的に働きかけ全力であなたをサポートします。

公務員と失職～『4つめのリスク』

交通事故を起こすと、「刑事上」・「行政上」・「民事上」の3つの処罰が課せられます。公務員は、4つめの処罰として、「自治体職員としての処分」が課せられます。「懲役・禁固刑」の場合、条例に特別な定めがなければ「失職」します。

最近では、刑事事件に対する「厳罰化」が強まっています。交通事故はもとより、スピード違反・無免許・酒酔い運転の交通三悪でも公判請求・禁固刑がめずらしくありません。

公務員に対する目が厳しくなっています。公務員は住民の見本であるとの自覚と、日常的にも安全運転の実践や啓発活動に取り組むことが求められます。

「失職リスク」に備え加入しませんか？

昨年一年間を見ても、死亡事故の事例が多数報告されています。

民間損保にも「弁護士特約」が付帯されていますが、刑事罰を意識した対応や示談対応は行いません。

自治労共済の『自動車共済』は、「刑事訴訟弁護費用共済金」が支払われます。損害賠償だけでなく、加害者本人・単組総支部・自治労共済・自治労共済顧問弁護士が、連携して迅速に対応を進めることができます。公務員ならではの『4つ目の失職のリスク』を回避するためには、非常に有利な制度内容です。

万が一の交通事故に「無関心」でいられても「無関係」ではられないことを再認識していただき、『4つ目の失職のリスク』に備えるためにも、自治労共済『自動車共済』への加入・切り替えをおすすめします。



※民間損保は「刑事事件」を意識した対応は行いません。

シリーズ 子ども・子育て新システム VOL.27

法案成立は消費税の議論しだい!?



3月30日、ようやく子ども・子育て新システム関連3法案(子ども・子育て支援法案、総合子ども園法案、関係法律の関係整備法案)が国会に提出されました。

施行日については政令で定める日となっており、具体的には、消費税の引き上げ時期を踏まえるとともに、地方公共団体での円滑な実施にむけた準備に、一定期間を要することも考慮して検討するといわれています。この法案が成立するかどうかは、消費税の議論しだいであると言えます。

法案を見ると、「総合子ども園」に置かれる職員として園長と保育教諭のほか副園長、教頭、主幹保育教諭、指導保育教諭、主幹養護教諭、養護教諭、主幹栄養教諭、栄養教諭、事務職員、養護助教諭、助保育教諭、講師という職名が掲げられています。そのほか、特例保育や特例地域型保育、保育緊急確保事業など、見慣れない用語が多く、それらも含めて、今後じっくりと分析していきたいと思えます。



本「赤れんが庁舎物語」プレゼント

本「赤れんが庁舎物語」を3人にプレゼントします。ホームページ「道本部」のメールまたははがきで応募ください。※所属の組合名、名前、住所、連絡先TELをご記入の上、札幌市北区北6条西7丁目、自治労道本部「赤れんが庁舎物語」プレゼント係宛。締め切りは5月10日(木)。

美しく、風格ある本が出た。赤れんが庁舎物語―畏友舟山廣治さん(元道議会議員)が出した本である。

手にとりてまず見入るのは、四季折々の移ろいが織りなす花々、木の葉水や空の色―その、それ

元道議会議員 高橋 庸

「赤れんが庁舎」の華麗な歴史

そのの匂いを運ぶ風のさままでもが目に浮かぶ、道庁庭園の美しい写真で

西欧文明が溶け込んだ赤れんが庁舎―その外観や内部も多角的に写し撮られ、この写真に添えて本道開拓の壮大なロマン

が語られる。舟山さんにとって、赤れんが庁舎は「文化」そのものだった。歴史の光沢がにじみでる外観は見飽きることはなく、庁舎には、北海道の記憶がぎっしり詰まっている、という。だが、この庁舎の精緻(せいち)な歴史を記す

述する文献がないことに、寂しさがあつた。それならば、「文化」としてこの庁舎を語らねば、という思いに駆られた。足かけ3年。プロの編集者・写真家が丹念に取材して執筆、撮影した。道庁所蔵20点の歴史絵画が、往時を偲ばせてくれる。

18章に分けられたこの本は、250万個の、れんがを積み上げた庁舎の華麗な歴史をたどり、この都府県にもない、本道だけのトピックスを収める。本道開拓の郷愁の旅に誘う、好著である。



もうすぐ桜の季節。ページをめくると、赤れんが庁舎前庭を散歩したくなる＝「赤れんが庁舎物語」春のページ

考えてみました「自分のライフプラン」



【留萌地本発】3月1日、毎年恒例の青年部学習会を開きました。たまたまには真面目に、と自治労共済北海道支部から黒坂事務局次長を講師に招き「自治労共済」について学習を深めました。

部員22人のうち15人が参加した学習会では「就職、結婚、マイホーム、

出産、入学」といった人生を想定し、どれぐらいの保障が必要なのかを説明してもらいました。

それは、さながら自分の「人生のスケジューリング」を考えるようで、とてもわかりやすく楽しいものでした。自分のライフプランを真剣に考えることなかったなあ」と

退職者・異動

- ◆小檜山秀昭さん
3月31日付で定年退職。小檜山さんは、青年婦人部や他団体派遣を含め38年間勤務した。引き継ぎに、総合研究室まで30年間勤務した。
- ◆近藤哲也さん
4月13日付で退職。近藤さんは、1982年1月から、青年婦人部を皮切りに、総合研究室まで30年間勤務した。

職場だより

この日は、組合に相談室を設けて、前日に参加した組合員の個別・具体的な相談に対応しました。新たな試みとして2日間わたって開いた学習会は、組合員にとって有意義なものになりました。おっと、忘れていましたが、初日の学習会後の

異動(4月1日)

- 【企画総務局】
企画総務部長 玉井秀樹
政治部長 高山智子(女性部・青年部担当)・引地圭太(教育情報担当)
- 【組織労働局】
賃金労働部長 山道摩奈美・小杉由美子
損害調査部部長 岡本宜久・萩原直
- 【総合政策局】
政治部長 玉井秀樹
【自治労共済道支部】
管理部長 宮川真希・鈴木知幸
事業部部長 山道摩奈美・小杉由美子
損害調査部部長 岡本宜久・萩原直

あいくみの国会だより

国会も年度末を迎えると、各委員案が政局に左右される状況ですが、会とも日切れ法案審議に神経を使います。国民、地方自治体などに迷惑をかけることがないよう、各会派とも理事は、国会対策委員会と打ち合わせを欠かすことができません。特定されます。法案を政局の人間にせず、立法府は、国民にとって積み上がる議論をすべきで、メディアの指摘もそうあってほしいものです。(4月5日、東京にて)

国民にとって積み上がる議論すべき 常態化が高い比率で想

忙中余話

「記事は5W1Hで書く」文は要約して伝える。新聞は見出しで読んでもらう。教育情報で学んだことだ。4月から前に担当していた自治労共済の損害調査部に異動し、3年半勤めた教育情報部・青年部を離れることとなった。覚えることもたくさんあるが、これまで得たすべもの、英語の時間に習った「5W1H」、国語で習った「要約の仕方」など、学生時代に習ったことがドンドンできて、新聞

ご存知ですか?

道本部のホームページ

自治労北海道 検索

情報がいっぱい